

自分に合う薬を見つけてくれるために

薬の作用は人によって異なります。自分の状況に合った薬を見つけて、安全かつ有効に薬を治療に役立てるために、頭の隅に「薬のサジ加減」というキーワードを入れておくと、薬を手にするときの意識が変わるかもしれません。今回は、覚えておくところとちょっとした便利なサジの加減についてご紹介します。

サジ加減について

サジは、粉やスプーンなどをすくって食べたりするときに使われますが、もう一つの使い方として、少量の粉などを量る道具としても使われてきました。

お料理でも、スーン半分のお塩と「シヨウ」を少々加えて味を調えましょう」とか、「サジ加減を間違えるとお料理が台なしになりますので注意してください」などと使われています。

お薬にもサジ加減というものがあります。昔から、漢方医は、患者さんの体質や病状から薬の量を微調整したり、薬味を加えたり、抜いたりしていたのです。

その加減の上手な医者は、名医と呼ばれていました。

現代の医薬品では

現代の医薬品で考えてみると、ほと

んどが錠剤やカプセルとなって、薬をサジで量ることもなくなり、サジ加減は今ではなくなってしまうのか、と思われる方もいるかと思いますが、しかし、薬が錠剤やカプセルになっても、サジ加減はあるのです。

病気の状態、体質、年齢、性別、体重などで、使われる薬の組み合わせや使用量が、患者さんごとに変えられているのです。

しかし、錠剤やカプセルで薬の量を調節しようとする場合、その錠剤に含まれている有効成分の量の違う製剤は数種類がせいぜいで、また、割線、かっせんとして錠剤を半分に分けるための線が入った薬を半分にしても、調節できる量は整数倍となってしまうのです。

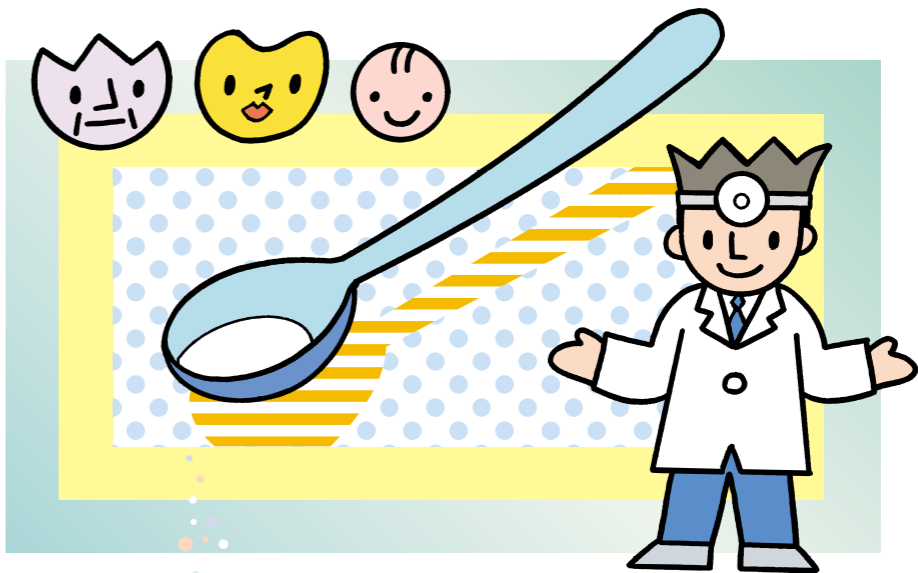
そのため小児では、病状も変化しやすく、年齢や体重差などハラスツキも大変大きいので、症状の現れ方によって、量や組み合わせの調節が自由にできる、粉薬やドライシロップやシロップ剤が多く使われているのです。

インは医薬品として使われているほど、お酒の飲めない人はオチヨ一杯で真ッ赤になり、フアラッしてしまうですが、酒豪の方ならば、一升酒を飲んでも平気の平左だつたりします。アルコールの作用を薬の効き目と考えると比較すると、下戸と酒豪とは違いがあるように、薬でも同様のことがあります。

以上、安全で有効な薬物治療には、患者さんごとに合った薬のサジ加減が必要なのです。飲んでる薬が合わなかつたり、効きすぎたり、効かなかつたりしたときなど、なにか疑問や質問があったら、医師や薬剤師に相談して、自分に一番合った薬を選んでもらうことをお勧めします。

サジを投げられることのないように十分に相談して、相互に理解を深めましょ。

(那波薬局 那波勝義)



なお、六歳以下の小児は、どの「つ」かえる危険性も考えて、錠剤やカプセルが処方されることは少ないのです。もちろん大人であっても、細かな調節の必要な患者さんへは、粉薬が使われています。

薬の飲み合わせから考えて

現在では昔に比べて、薬の種類も何万種と非常に多くなっています。そしてひとりの患者さんでも、いろいろな科のお医者さんにかかっていたり、また薬局から購入した薬を飲んでいる場合もあります。

そうなるのと昔と違い、薬の飲み合わせや、薬どうしの相互作用とか、基礎疾患(しっかん)や合併症との関係も、考えなくてはなりません。

そのために、薬局では薬歴管理といって、患者さん個々の薬のカルテを作

成して、いつでも薬の履歴を確認できるようにしています。さらに、お薬手帳を患者さんにお渡しして、他の医療機関にかかったり、薬局で薬を購入するときに、現在までの服用している薬の内容を、医師や薬剤師に提示していただくようにしています。服用中の薬がわかれば、それだけ安全で効果的な薬物療法が受けられます。

ですから、まだお薬手帳をもらっていない方は、お早めに、薬局におしよってください。

薬の作用は異なるから

薬の効き方は、一人ひとり違います。同じ年齢で、同じ体重の人が同

じ病気にかかっている、同じ薬を投与されても、効き目が全然違うことがあります。

実験結果でも、少量で効く人、普通の量で効く人、多量でやっと効く人と分かります。量を多く服用して効果が出たほとんどの人が、副作用も出さず、また有効であった量を、その薬の通常の使用量と決めて実際に使用されます。通常の量だけで判断してしまうと、通常量では効きすぎてしまう人や、全然効果の出ない人も、まれに起こることになります。

ですから薬の通常使用量の記載には、年齢や症状により適宜増減とされています。つまり、薬はみな同じように効くものだと思っている人がほとんどだと思いますが、実はそうではないのです。

例えば、百薬の長とも言われるお酒を考えてみてください。お酒はいろいろな作用を持った化学物質です。特にワ

基準薬局リスト

秋田市

| | | |
|--------------|---------------|-----------|
| すずらん薬局土崎店 | ☎018-880-2101 | ☎880-2102 |
| スダ薬局(通町) | ☎018-862-3755 | ☎864-7662 |
| スダ薬局(がみでん店) | ☎018-835-9986 | ☎835-4509 |
| スダ薬局(外旭川) | ☎018-868-4338 | ☎868-4547 |
| スパーク薬局 | ☎018-864-0622 | ☎865-3939 |
| すばる薬局 | ☎018-857-1422 | ☎845-1545 |
| スマイル薬局 | ☎018-846-5778 | ☎857-3643 |
| 生々堂薬局 | ☎018-832-4290 | ☎832-4293 |
| 外旭川ファーマシー | ☎018-868-0293 | ☎868-0293 |
| 中央薬局 | ☎018-833-8344 | ☎837-6234 |
| 調剤薬局ほっと | ☎018-857-3214 | ☎857-3218 |
| つちざき南薬局 | ☎018-845-7722 | ☎845-7722 |
| 丁西会薬局 | ☎018-835-8788 | ☎835-8863 |
| ドラッグますや | ☎018-846-2877 | ☎846-2851 |
| 長尾薬局 | ☎018-847-1218 | ☎846-6583 |
| 中通薬局 | ☎018-835-8002 | ☎835-8002 |
| 那須薬局 | ☎018-839-8008 | ☎839-8013 |
| 那波薬局 | ☎018-862-3219 | ☎862-3339 |
| 那波薬局八橋店 | ☎018-863-1521 | ☎863-2788 |
| 仁井田薬局 | ☎018-839-5491 | ☎839-5635 |
| 西岡メディカル薬局秋田店 | ☎018-880-5775 | ☎880-5771 |
| 登町薬局 | ☎018-837-2020 | ☎837-4808 |
| ぱーる薬局 | ☎018-845-8300 | ☎845-8301 |
| 半田薬局 | ☎018-857-1453 | ☎847-2349 |
| 広小路薬局 | ☎018-832-4591 | ☎832-6575 |
| 平和薬局 | ☎018-864-0044 | ☎864-0059 |
| ほどの薬局 | ☎018-865-2535 | ☎865-2535 |
| ポプラ薬局 | ☎018-835-1535 | ☎835-1881 |
| 舩屋薬局 | ☎018-845-4181 | ☎845-4182 |
| 舩屋薬局ひがし店 | ☎018-880-5210 | ☎880-5213 |
| 豆の木調剤薬局 | ☎018-846-8323 | ☎857-2393 |
| みその薬局 | ☎018-896-4411 | ☎896-4412 |
| 緑ヶ丘薬局 | ☎018-845-3453 | ☎845-3453 |
| みどりさわやか薬局 | ☎018-866-7571 | ☎866-4255 |
| 港中央薬局 | ☎018-828-9060 | ☎828-6251 |
| 南薬局 | ☎018-834-5372 | ☎834-8396 |
| みゆき調剤薬局 | ☎018-892-6789 | ☎892-6781 |
| メイプル薬局 | ☎018-868-5005 | ☎868-6222 |
| 本山町薬局 | ☎018-880-2225 | ☎880-2226 |
| 薬局エール港北店 | ☎018-857-1090 | ☎857-1057 |
| 薬局エール自衛隊通店 | ☎018-847-3991 | ☎880-1252 |
| 薬局けやき | ☎018-832-0474 | ☎831-4069 |
| 薬局とっと | ☎018-836-0971 | ☎836-2395 |
| 山田相談薬局 | ☎018-863-0063 | ☎865-3288 |
| やよい薬局 | ☎018-864-8334 | ☎864-5949 |
| 雄和薬局 | ☎018-886-5027 | ☎886-5072 |

秋田県薬剤師会

秋田市千秋久保町6-6 TEL.018-833-2334
E-mail: info@akiyaku.or.jp
http://www.akiyaku.or.jp

処方せん公文書の有効期限は処方日を含めて4日間です。